

補助事業番号 2018M-079
補助事業名 平成30年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 長崎県

1 補助事業の概要

当該補助事業は、長崎県工業技術センターにおける試験設備（冷熱衝撃試験装置）の更新導入を行い、県内企業への技術支援を強化する。このことによって、県内企業の製品の性能や品質の向上、コストダウンを促進し、県外からの受注増や海外展開など、県内企業の売り上げ増や競争力向上に寄与することを目的としている。

当センターは地元企業の要望に応え、年間2,000件を超える依頼試験や年間約1,200件を超える設備開放などの業務に対応しており、試験環境の維持と更なる向上を図ることは当センターの重要な責務の一つである。今回更新対象とした冷熱衝撃試験装置の既存設備は、平成15年度に導入されたものであり、安定した試験環境の維持に支障をきたしていた。当該補助事業でこの機器を更新したことによって、安定した試験環境が維持されるのみならず、試験作業の効率性、試験結果の信頼性を高めることにも繋がった。そのため、開放設備や共同研究等の面で今まで以上に県内企業に貢献することができる。

2 予想される事業実施効果

当該補助事業で導入した冷熱衝撃試験装置は、当センターにおける設備開放業務だけでなく、技術相談対応や共同研究といった経常の技術支援業務でも使用する。

当該装置は、供試品に急激な温度変化（熱衝撃）を繰り返し与えることができ、県内企業が開発・製造する製品等の信頼性評価に供することができる。また同時に、製品の開発、改良、コストダウン等にも貢献する。

3 本事業により導入した設備

① - 1 ; 冷熱衝撃試験装置

(<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/sangyoshien/gijyutsusien/kaihousetsubi/>)
(<http://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2019/01/1547098665.pdf>)

【型 式】

ES-107LH-R [日立アプライアンス 株式会社]

【用 途】

急激な温度変化（熱衝撃）に対する供試品の耐性を確認し、信頼性を評価するために用いる。試験装置は高温槽、低温槽、試験槽の3槽で構成され、プログラム設定に従ってダンパを切替えることで試験槽に吹き込む風を切替え、連続的に熱衝撃を与えることができる。

【設置場所】

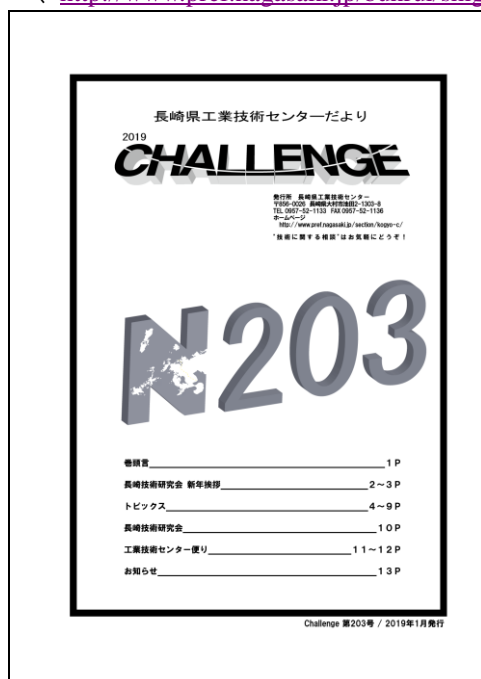
長崎県工業技術センター 機器試験室



冷熱衝撃試験装置（本体）

②本事業に係る印刷物等

- ・長崎県工業技術センター、隔月情報誌「Challenge 203」号（平成31年1月末 発行）
（<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/sangyoshien/zyouhouhasshin/challenge/>）



「Challenge 203号」 表紙



「Challenge 203号」 掲載ページ

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：長崎県工業技術センター（ナガサキケンコウギョウギジュツセンター）

住所：〒856-0026

長崎県大村市池田2丁目1303番地8

代表者：所長 橋本亮一（ハシモトリョウイチ）

担当部署：電子情報科（デンシジョウホウカ）

担当者名：主任研究員 田中博樹（タナカヒロキ）

E-mail：tanaka_h@tc.nagasaki.go.jp

電話番号：0957-52-1133

FAX：0957-52-1136

E-mail：instrument@tc.nagasaki.go.jp

URL：<http://www.pref.nagasaki.jp/section/kogyo-c/>